

会 議 録

会 議 名	第二回東松山市立小・中学校適正規模審議会					
開 催 日 時	令和元年10月1日（火）			開 会	10時00分	
				閉 会	12時20分	
開 催 場 所	総合会館多目的ホール					
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 （1）本審議会の位置づけについて （2）アンケート内容について （3）その他 4 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数	0人		
非公開の理由						
委員出欠状況	会 長	新里 孝一	出	委 員	木村 かおり	出
	職務代理	佐藤 高志	出	委 員	江連 万徳	出
	委 員	田中 恵子	出	委 員	清水 通	出
	委 員	三村 浩男	出	委 員	山本 和順	出
	委 員	大木 聖子	出	委 員	高野 昌枝	出
	委 員	塩原 憲孝	出	委 員	金 朝子	出
	委 員	椎名 和昭	出	委 員	中嶋 栄	欠
	委 員	庭野 さやか	出			
事 務 局	教 育 長 中村 幸一			教育総務課長 阿部 康裕		
	教 育 部 長 小林 強			教育総務副課長 柴崎 恭史		
	教育部次長 鈴木 寿			学校教育課副主幹 山本 由香		
	教育部次長 柳沢 知孝			学校教育課主任 高坂 直之		
	学校教育課長 小林 聡					

次 第	顛 末
1 開会	(事務局開会宣言)
2 あいさつ	(教育長あいさつ) (会長あいさつ)
3 議事 新里会長	それでは、議事に入りたいと思います。 議事(1)「本審議会の位置づけについて」、事務局から説明をお願いします。
学校教育課副主幹	【議事(1) 本審議会の位置づけについて説明】
新里会長	議事(1)の説明が終わりました。ご意見、ご質問はありますか。
新里会長	よろしいでしょうか。
委員	(はいの声あり)
新里会長	それでは、議事(1)につきましては以上としたいまして、議事(2)のアンケートにつきまして、事務局から説明をお願いします。
学校教育課副主幹	【議事(2) アンケート内容について説明】
新里会長	進め方について、私から提案があります。まず、「アンケートについて(案)」と、「アンケート内容」は、別紙にございます。「アンケートについて(案)」の3番を除いた部分について、ご質問等をいただきまして、こちらが一段落ついた時点で、アンケートの中身の方に移っていくという段取りでいきたいと思いますがよろしいでしょうか。
委員	(はいの声あり)

<p>新里会長</p>	<p>では、そのように進めます。</p> <p>実施時期、対象者、アンケートの配布及び回収方法につきまして最後に重複回答の件もございましたが、全体を通して、何かご質問、ご意見、気づいた点などございましたら、ご自由に出していただければと思います。</p>
<p>清水委員</p>	<p>1点目になりますが、地域の代表たる人、自治会長とか民生委員が対象から漏れているということは、市民としての公平性が優先されるわけですから、このことについては承知しました。</p> <p>2点目は、第1回審議会において自由記述欄がないと意見させていただきましたが、どの対象者のアンケート用紙にも自由記述欄が設けられております。集約はとても難しいですが、選択式の回答では表現しきれない部分を自由記述欄に書いていただくことは、地域としての意向、保護者としての意向、一市民としての意向を吸い上げることとなり、今後にとっても参考になります。この辺も重要視していただきたい。</p> <p>3点目については、対象者は無作為抽出であり、市民としての学校教育に対する意向や意識を確認するという意味では広く市民から意見を伺うことは非常に重要であると思います。しかしながら、市としての教育関連将来構想がどうあるべきかを占う非常に重要なアンケートです。学校規模の適正が将来にわたって確保できないのではないかとということが想定される地域の住民全員には無理だとしても、せめて保護者には全員にとることはできないでしょうか。一例で大岡小学校は96人位ですので、保護者全員に保護者アンケートを配付してはいかがかと思います。少しファジーな部分であり、設定する学校の根拠はなんですかと聞かれたら、将来的に適正規模の確保が懸念される学校という理由では答えにならないかもしれませんが、そのあたりは事務局で考慮していただいて、この審議会の設置は、こういう教育関連の背景を元に、将来像を目指して、設置されているということを知っていただく意味合いからも保護者全員にアンケートを実施していただきたい。以上3点を申し上げさせていただきます。</p>
<p>新里会長</p>	<p>ありがとうございました。</p>

	<p>前回ご要望いただきました件につきましては、ご要望に添えたということで、今回の件につきましては、小学校2・5年、中学2年生ですが、小学1年から中学3年生の保護者すべてを対象にということでよろしいでしょうか。</p>
清水委員	<p>はい。よろしいです。</p>
新里会長	<p>アンケートの性格上、一般ベースのもので、特定の学校に行くという選択肢はないと思います。</p>
清水委員	<p>一部の学校を抽出して市の川小・大岡小でといったら、説明がつかないので、やる以上は全校の保護者全員にという意味合いです。</p>
新里会長	<p>小中合わせて3学年分の保護者を対象にしていますが、これを全学年に広げるといったご意見に対していかがでしょうか。</p>
教育部次長	<p>ぜひ委員の皆様にご意見をいただければと思います。</p>
学校教育課副主幹	<p>基本情報といたしまして、5月1日現在の児童生徒数を申し上げます。小学校児童数は約4,415名、中学校生徒数は2,168名、合わせますと6,500名以上となります。</p>
清水委員	<p>家庭数となりますと変わってくると思いますが、家庭数は把握しておりますか。小中学校の義務教育を受ける保護者数というのは把握しておりますか。</p>
学校教育課副主幹	<p>家庭数は把握しておりません。</p>
新里会長	<p>清水委員さんのご提案だと5,000人から6,000人となるのですね。</p>
学校教育課副主幹	<p>6,000人は超えると思います。</p>

新里会長	<p>そうすると、市民対象者を2,000名と想定すると、ずいぶん保護者の回答数が多くなってしまうと、客観的にそうなりますよね。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
江連委員	<p>家庭数の数ですが、市PTA連合会の総会の資料からですと、会員数が5,456名でありますので、家庭数はこのくらいになると思います。</p>
新里会長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
新里会長	<p>一般的に意向調査という類のアンケートになります。この審議会においても、この意向調査はもちろん参考にはいたしますが、大きく縛られることではないということは、初回の審議会でもご確認いただいたとおりです。やはり、バランスを考えますと、市民が2,000名ですから、保護者もそれに近い数字で行うことが技術的には当然となります。もちろん委員の皆様が、どうしてもということであれば、検討しなくてはなりません。一般的な意向調査といたしましては、間違いはないと考えますが、いかがでしょうか。</p>
清水委員	<p>会長おっしゃるとおり、バランス的に言えば説明できる根拠ですよね。ただ、PTA連合会で把握している5,456家庭は、市民であるので、いってみれば保護者であり市民でありますので、両方の立場で回答いただくことを求めているので、バランス感覚を欠くとか、意見が将来構想に参考にならないという考えには至らないと考えます。</p>
新里会長	<p>もちろん参考にならないということはないです。6年生の保護者さんや中学3年生の保護者さんは翌年度卒業してしまうということもありますので、全学年にこだわることはないと考えます。</p>
清水委員	<p>審議会で述べさせていただいているのも、個人の考えというのはもちろんですが、地域の方々の声もたくさん聞いてます。今、</p>

	<p>お子さんが通っている学校の教育環境、地域環境を含めてよいと思っている保護者が多いです。</p> <p>私は大岡地区の会長、大岡地区のハートピアまちづくりの会長の立場で地域を代表せざるを得ない立場でありますので、地域の方がこのことを話題にすることが多いので、地域の意向も教育委員会に、また他の委員さん方にお伝えすると答えています。その状況も理解した上で、ご検討いただければと思います。</p> <p>私は、川島町で、こういう問題をやってきました。</p> <p>私がいた学校も、昨年廃校になりまして、やはり地域は廃校になることがどれだけ大変なことかということを感じてきています。ただ、私も現職の時、単級まではいかなかったのですが、女の子が1人になってしまうことがあり、そのお子さんは転出してしまったことがありました。その地域の立場が分からない人には、清水委員の言っている意味が分からないでしょう。考えているレベルが違ってしまって。ただ、今は始まったばかりですので、全体がどう考えているのか、考えなければならないというところに持っていくことが、まずは大切なことだと思います。今、議長さんが言われたとおりの全体的な傾向が分かると思います。大岡小や北中は色々考えていると思いますので、意見欄のところに、書いてくるとと思います。その意見をしっかりと受け止めて、審議していけばいいのではないのでしょうか。学校関係者やPTA関係者が多い訳ですから、各地区の状況が分かる方も多いと思います。まず第1段階としては、あまり偏らないでいける方法を一番に考えた方がいいのではないのでしょうか。私も2年5年、中学2年くらいで大枠をまずは取って、そこで問題が起きたら、もう一回行くという形でもいいと思います。</p> <p>あと、市民の無作為の2,000人の年代構成が、どういう形になるのかが少し疑問です。</p>
金委員	<p>私は、川島町で、こういう問題をやってきました。</p> <p>私がいた学校も、昨年廃校になりまして、やはり地域は廃校になることがどれだけ大変なことかということを感じてきています。ただ、私も現職の時、単級まではいかなかったのですが、女の子が1人になってしまうことがあり、そのお子さんは転出してしまったことがありました。その地域の立場が分からない人には、清水委員の言っている意味が分からないでしょう。考えているレベルが違ってしまって。ただ、今は始まったばかりですので、全体がどう考えているのか、考えなければならないというところに持っていくことが、まずは大切なことだと思います。今、議長さんが言われたとおりの全体的な傾向が分かると思います。大岡小や北中は色々考えていると思いますので、意見欄のところに、書いてくるとと思います。その意見をしっかりと受け止めて、審議していけばいいのではないのでしょうか。学校関係者やPTA関係者が多い訳ですから、各地区の状況が分かる方も多いと思います。まず第1段階としては、あまり偏らないでいける方法を一番に考えた方がいいのではないのでしょうか。私も2年5年、中学2年くらいで大枠をまずは取って、そこで問題が起きたら、もう一回行くという形でもいいと思います。</p> <p>あと、市民の無作為の2,000人の年代構成が、どういう形になるのかが少し疑問です。</p>
新里会長	<p>まず、質問からで無作為の年代構成はどうなるのでしょうか。</p>
学校教育課副主幹	<p>無作為についての年代構成は、18歳以上としておりますので、</p>

<p>新里会長</p>	<p>18歳の方もいらっしゃれば、80歳の方もいらっしゃいます。地区別においても、人口割で公平に出ますので、年代もあまり偏りがなく抽出できると考えております。</p> <p>アンケートそのものが意向調査であり、もちろん参考にいたしますが、あくまでもアンケート結果に縛られるものではないわけで、対象を全部にするということをしてしまうとアンケートの重みが、逆に重くなってしまうことが考えられまして、こだわらなくてはいけなくなります。そういったしますとアンケートの趣旨と反してくると思います。清水委員さんのおっしゃっていることは、自由記述欄のところで、主張することも恐らく可能だと思われまます。そして新たに要望されたようにアンケートの集計の際に組み上げてもらうように事務局に対応していただくということでしょうか。</p>
<p>清水委員</p>	<p>金委員さんがおっしゃったように、この段階は意向の調査であり決定づけるものを求めているものではありません。今の状況がどうなっているのか意向を調査する意味合いで捉えると、これで賛成です。</p> <p>自由記述欄の内容も意向に取り入れてくれるならば、反対するものではありません。</p> <p>川島の例も出してくれましたが、地域の方々にとって、この問題は第一案件です。子供たちの教育環境がこうなっていくと決まれば従わざるを得なくなってきましたが、どうしてこうなったのかの説明がきちんとできるように、また誰がするのかということもありますので、こちらの立場としての意向もお示ししておきたい。</p>
<p>大木委員</p>	<p>今、お二方の意見を伺って、本気度が違う、またひっ迫度が違うと感じました。保護者はこの原案とおりでいいと、全体的な傾向をみるのでいいと思います。</p> <p>先日、清水委員から区長及び自治会長のご意見はという話がありました。事務局の説明である程度の公平性ということは分かりますが、本気度とか児童生徒の理解度、学校は特に地域との関わりを大事にしています。登下校の見守りも面倒をみていただいて</p>

	<p>いるということを考えると、民生委員さんや自治会長さんも本気度を高く持って児童・生徒を見てくれる方々なので、市民の中に3つの役職の方は入れてはいかがでしょうか。これが抽出だけだと、子どもの教育環境にあまり興味がない人の中で消えてしまうのは、もったいないので、3役の方々にはアンケートに答えていただきたいという思いがあります。</p>
<p>新里会長</p>	<p>今の大木委員の意見はいかがでしょうか。</p>
<p>田中委員</p>	<p>私は調査関係を行ったことがありまして、人数が多いから結果が出るということではなく、アンケート調査は限られた中で行うことで見える化を図る、まちとして、また地域として、公平さを保ちながら、いかにアンケートをするかということが、大事であると考えます。人数が多いことがいいことのように感じられますが、結果的にはそんなに変わらなく、多すぎると思いが生かせないことにもなります。審議会委員の皆さんが思いを持って、「子どものために」、子どもがベストで話をしていくと思うので、そのためにアンケート調査は行うものです。お話によると地域が子ども達を大事に思っていることは良くわかります。私もそういうところも経験し、東松山市で大きい学校も経験しているので、それぞれの思いは分かります。これから先、国がどこを狙っているかという、子どもの命に係わる部分、行き場のない子ども達をどのように守るかというのが一番のミッションです。一クラスだと何かあった時に行き場がないとか命に係わる危機感を持って、小さい学校でやってきました。アンケート調査でやってきたことを、私たち自身が、アンケートのデータをもとに、子ども達にとって何が一番いいのか等、話し合っていくべきではないでしょうか。私たちは大変重要な役割を得ているのではないかと思います。限られた予算の中で、いかに子ども達を育てていけば教育力が上がるか、何がベストであるかを考えなければならないと思います。</p>
<p>新里会長</p>	<p>大木委員さんのおっしゃっていることは、本当にそのとおりだと思います。ただアンケートというのは熱意の差を見ないというのがアンケートだと思います。気持ちはすごく分かりますが、切</p>

<p>佐藤委員</p>	<p>りがなくなってしまうので、ご理解をいただいて原案にご賛同いただければと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>結論からいいますと、金委員さんと田中委員さんと同じです。当審議会の位置づけにあるように、第一段階として、学校適正規模について考えると、アンケートの結果を参考にしながら、教育論として「子ども達の教育にとってはどんなことが良いのか」ということが第一だと思います。</p> <p>もちろん、各地域、学校ごとの良さというものも踏まえながら、議論するということが大事ではないかと思えます。適正規模審議会が行われました、イコールどこかが統廃合されるのではないかという噂があるのであれば、そうではないですよと、別のところで発信して、よりよい教育をすることを、この審議会で審議してくということです。</p> <p>国では1学校あたり12～18学級がいいと言われているが、東松山市としてはどう考えるか等を、考えていけたらいいのではないかと思えます。ですから、アンケートとしては原案のとおりでいいと思えます。</p>
<p>教育部次長</p>	<p>市民アンケートの2,000名について、6割程度の回収を目指しており、統計学上で見ますとアンケートの信頼度は95%くらいになります。9万人の市民であろうが100万人の市民であろうが、信頼度は変わらないとされておりますので、その上で2,000名とするものです。</p> <p>さらに審議会の目的に関して、市の全体の方針を定めていくこと、また学校の存在として、教育の場であるとともに、地域の中の学校ということもあります。教育の現場と地域との線引きは、恐らくできないと考えており、地域からの意見がたくさん得られるということも想定し、市民アンケートを実施するものであります。小学2年、5年、中学2年保護者にも実施いたしますので、市内全域の意見がいただけるものと考えています。また、自由記述欄もありますので、この意見を集約いたしまして、委員の皆さんに資料として提示できればと考えております。</p>

<p>新里会長</p>	<p>自由記述欄に書かれたものを集約して審議会に出すということについては、できれば100%の状態を出していただくということを要望します。できれば対象者について、事務局案としたいがいかがですか。</p>
<p>清水委員</p>	<p>こういった形でアンケートをとって集約をし、60%くらいの回収率を期待しているとありました。その中で、大木委員さんが言われた温度差をどういう風に受け止めるのでしょうか。平らなアンケートで全体の意向は見えると思います。統計学的には2,000名にアンケートをとっても、10万名にアンケートをとってもそれほど差はでてこないという話もありました。温度差や当事者意識をどう吸い上げようと考えているかお聞きしたい。</p>
<p>教育部次長</p>	<p>そもそもアンケートは公平性を持って行うものですが、温度差については、まず自由記述欄がありますので、この自由記述欄には熱い思いが含まれてくるだろうと想定しております。方針を定めていく中で参考にし、例えば付帯事項とかで吸い上げることができるのではないかと考えます。</p> <p>審議会の位置づけにおいて、令和元年度と令和2年度については、市全体の方針として一つの柱を定めていくものです。東松山市の子ども達の教育環境として、どのようなものが望ましいか柱を定めてまいります。各学校で定めを変えるものではありません。令和3年度以降は、方針に外れてくる学校があるということを想定しております。当審議会で特色化であるとか、小中一貫であるとか、学校の統廃合であるとか、通学区域の変更であるとか、様々な対応を審議して、地域へ説明してまいりますので、その中で、多くの意見を吸い上げることができると考えております。</p>
<p>清水委員</p>	<p>その通りだと思います。そのコンセプトのもとにということはいくぶん分かりました。それぞれの地域の学校教育に深く関わっていただいている準教育関係者、教員以外の、学校運営協議会委員とか区長とか、大木委員が言われたとおり、本気度と、子ども達の生の声、学校現場の声、教員からの声、特に通学路を見守っていただくなど縁の下の力持ち的に支えてくださっている方々の意見</p>

<p>新里会長</p>	<p>や思いは、やはり最初のステップで吸い上げる必要があるのではないかと思います。地域にとって学校は教育や文化の発信基地でありますので、深く意味合いを理解してくれている方々、サポーター、学校運営協議会など、職員に準ずるものを加えてもらってもいいのではないのでしょうか。</p> <p>アンケートで温度差を吸い上げるということは、難しいと思います。清水委員がおっしゃっていることをするには、アンケートとは別のことをしなければならないと思います。市民の意向を確認したいとするアンケートで行うことは不可能であると思います。おっしゃっていることは良く分かりますが、アンケートの技術的な部分でも混乱をしてしまうと思いますし、熱意がある人を書いていただいても隠れてしまい意味が出てこないと思います。やるかどうかは分かりませんが、このアンケートとは別の形でやらないと、一般論として出来ないと思います。</p>
<p>清水委員</p>	<p>統計学上の一般論は理解できない訳ではないですが、学校運営協議会の委員、学校の支援員やボランティアを校長先生に推薦ただいて、別のアンケートをとるということは、第2段階になったり、付け加えのようになるので、逆に難しいのではないかと思いますので、あえてここに入れた方がいいのではないかと思います。</p>
<p>新里会長</p>	<p>平成28年だったでしょうか。高坂小の大規模化の対応ということで審議会の委員としてお世話になりましたが、やはりあの時も地域の方の熱い思いを説明会等で聞かせていただきましたが、今回のアンケートにつきましては、内容をみて市民の一般的な考え方のまとめになるのかなと思います。</p> <p>その後、令和3年度以降、説明会等があると思いますが、今、東松山市民がどう考えているのかが、このアンケートの内容で分かってくるのではないかと思います。熱い思いも良く分かりますが、市全体の考えを1つまとめるものにしていけば、よいのではないかと思います。</p>

山本委員	<p>これは1番目の取り組みであって、一つの方法を我々が得ると いう観点でございます。一般的なアンケートの概念で、市内にお 住まいの方の傾向が分かれば良いのかなと思います。</p> <p>その中で質問をさせていただきたいのですが、児童の意見を得る ということは考えたかどうかということ、またこの審議会は文 科省の手引きに沿う審議会ではありますが、東松山市は他の自治体 と比べてどの位のスピード、速いとか遅いとか平均的であるとか を教えてください。</p>
教育部次長	<p>子どもの気持ちを大切にすることは重々承知をしておりますが、子どもは知識や経験も少なく、子ども達に与える教育環 境、人格や人間形成へどのような影響を及ぼすのかを判断するこ とや、客観的に教育の在り方について意見を述べるのは難しいと 考えています。望ましい方向に導いていくのは、皆様をはじめ大 人の役割だということも考えてきた結果、子どもには実施しなく てもいいのではないかと考えました。</p> <p>2つ目の審議会の進行度に関しましては、多くの市町村で審議会 は立ち上げており、さらに私どもが令和3年から取り組もうとし ている取組もすでに進んでいる市町村が多くあるのが、現状です。 近隣では嵐山町・小川町も進んでおります。</p>
山本委員	<p>児童の件は、検討しなかったということですか。</p>
教育部次長	<p>いいえ。考えた上です。</p>
山本委員	<p>児童権利条約の第12条に基づく質問でありまして、教育環境 を含む子どもの処遇の決定については、大人の責任であると考え ますが、12条の観点からいいますと、意見を表明することはな んとか対応してあげないと、ということです。今回のアンケート に限らず審議会の中で子どもの意見の表明をどのように担保しよ うかということを討議されるといいと思います。</p>
新里会長	<p>何か他にありますか。ないようでしたら市民の全体的な意向を 聞くということで、この対象者で実施していいということでご異</p>

	議ございませんか。
委員	「なし」の声あり
新里会長	では、ご承認いただいたということで進めたいと思います。同じプリントですが、配付・回収方法がございしますが、これについては何かありますか。子どもが学校から持って帰ってくるということですが、校長先生方、何かありますか。
塩原委員	封筒には入るのですか。そのまま配って、回収ですか。
教育部次長	その予定ですが、ご意見をいただければと思います。
学校教育課副主幹	事務局として、学校を通して配付・回収を行いますが、内容としては特別隠す必要がないと考えています。保護者がアンケートを記入する際、お子様に状況を確認することも考えられ、封筒に入れて戻していただくということではなく、このまま戻してこうと思っています。
庭野委員	私は小学校5年生の娘がおりますので該当の保護者となりますが、重要な文書にあたると思います。子どもがいつも配られるお手紙と混ぜて持って帰ってきます。PTA関連の手紙は封筒に入って持って帰ってくるので、すごく重要であり、きちんと持って帰らなければ子どもは思うみたいです。封筒とか、子ども達にちゃんと持って帰らなければならないと周知してほしいです。封筒に入れないのであれば、色の付いた用紙に印刷していただくなど、配慮していただきたい。
新里会長	要望として、事務局で検討をお願いします。
清水委員	ペラできて提出しますが、5年生くらいになれば目を通します。うちのお父さんお母さんはどんなことを書いているのだろうと。中2くらいになると親と違う意見だと改ざんができます。やはり、庭野委員が言われたように、これは大事なものと認識するため

	<p>にも封書での提出が望ましいのではないかと思います。</p>
新里会長	<p>こちらも要望としてよろしいでしょうか。</p>
清水委員	<p>はい。</p>
新里会長	<p>アンケート（案）の中身ですが、市民用・保護者用・教員用と、違いは1ページ目の基本情報のところですか。3つのアンケートを見ていただいて、ご意見ご要望がありましたら出していただければと思います。</p>
清水委員	<p>1点目ですが、アンケートには、いわゆる誘導的と感じられるところは見受けられませんので、内容的にはよろしいのではないかと思います。もう1点は、このアンケートが何を根拠に何を基に出し、誰の意見を集約させるために作られたのか、はじめのところでは文言を加えたらいかがでしょうか。たとえば、「このアンケートは審議会の検討を基に作成されたもの。」とかを入れると、教育委員会や市当局が一方的に作ったというような印象を与えないと思います。</p>
学校教育課副主幹	<p>事務局で検討させていただきます。</p>
新里会長	<p>続きまして、設問1から設問2まで、小学校の学級数及び学級人数について、ご意見ございませんか。</p> <p>事務局の始めの説明の中で、市議会全員協議会で、いきなり学級数とか学級人数を聞かれても、基礎知識がないからわからないという指摘があったということです。事務局としては、学校教育法など法令を入れたということですが、この点についても何かご意見がありましたらお願いします。</p>
木村委員	<p>2年生と6年生と年長の子どもを持つ親ですが、2年生と6年生が同じ1クラスで25～6人、ただ、どちらも学年が違うので、低学年と高学年では、適正であると保護者が思う人数には、少し差があると思います。できれば、低学年は何人、高学年は何人と</p>

	<p>分けて頂いた方が答えやすいのかなと思います。それと新明小も中規模で、人数もそこそこいるので、1クラスになってしまうなどの話はでないですが、2クラスになるか3クラスになるか、どの学年の保護者も期待をし、「3クラスがいいね」とかで盛り上がります。よくママ友と、「30人前後がベストだね」と言っています。35人を超えると多いけど、25人ではちょっと少ないと微妙なラインがあります。私も2年生の保護者なので、該当しますが、ウとエのどちらを選ぼうか考えてしまいます。低学年と高学年で分けていただければ答えやすいかなと思います。</p>
新里会長	<p>先ほど、アンケートの重複についても説明がありました。いかがでしょうか。</p>
庭野委員	<p>低学年に適した人数と高学年に適した人数は保護者によって、違いがあると思うので、低学年に対しての設問の枠、高学年に対しての設問の枠があればいいという提案です。</p>
新里会長	<p>たとえばですが、5年生の保護者に、低学年だったら何人か、高学年だったら何人かという2つの聞き方、つまり2つの回答欄ができるのはいかがかというご質問ですが。</p>
田中委員	<p>保護者としての思いはとても分かりますが、学校というのは学級編制で人数が決まっています。そうなると、こんなに少なくできるのかと勘違いを招いてしまうのかなと思うので、思いは良く分かりますが、このままの方が平等性もあるかなと思います。</p>
新里会長	<p>問われている学年において、その観点で答えていただく、2つになってしまうと複雑になってしまうので、意に沿わないところは自由記述欄で答えていただくということになるかと思います。それでは設問3、設問4の今度は中学校のところですが、同じく学級数と学級の人数を聞いているところです。</p>
佐藤委員	<p>設問3の学級数のところですが、中学校で特に話題になるのが、教員が規模によって、免許外指導ということもあります。すべて</p>

<p>新里会長</p>	<p>の教科で教科担任が行うには9学級が必要だということがあります。生徒たちの指導においても望ましい指導になるのかなと思います。そういったことも情報として入れておくということも、ありではないかと思います。</p> <p>それは、参考意見として、入れるかどうかということを事務局でぜひ検討してください。他にありませんでしょうか。</p> <p>それでは最後のページ設問5と6を、設問5は「児童・生徒数の減少が見込まれる中での対応について」設問6は「通学距離について」の設問です。</p> <p>設問5の分かりにくい用語には下に説明がついています。</p>
<p>江連委員</p>	<p>設問5の児童・生徒数の減少が見込まれる中での対応についてで、学級定員を減らせば、当然学級数を増やすことができますので、そういった対応を選択肢の中に入れる。また通学距離については、以上はあるのですが、以下とか未満がないので、入れ込んだらいかがでしょうか。</p>
<p>新里会長</p>	<p>最初のご意見は、ア～オの中に、学級定員を減らせばといのを入れるというご意見ですね。</p>
<p>清水委員</p>	<p>特認校という制度が、一般の保護者にどれだけ浸透しているかわからないですが、特認校の※印のところに、白山中と桜山小が実施等を入れておいた方がよいのではないのでしょうか。</p>
<p>田中委員</p>	<p>設問5の※印のところですが、1学級が編成の編成がこれでいいのかというところと、私は複式学級にいましたが、学年のペアというのが重要だったので、1年と2年が合わさって、そして、4人と3人というような書き方がいいのではないかと思います。</p>
<p>新里会長</p>	<p>そのほか何かございますか。</p> <p>設問は7まで設定をされていますが、もっとこういうものを入れた方がいいとかございますか。</p> <p>大枠でこの方向でご承認いただければと思いますが。</p>

<p>学校教育課副主幹</p> <p>新里会長</p> <p>学校教育課副主幹</p> <p>新里会長</p>	<p>先ほどご指摘いただきました回収方法とアンケートの中身につきましても、誤字やご指摘いただきましたところを修正させていただきます。回収方法は審議会を、もう一度開催することもできませんので、教育委員会事務局で校長先生や教頭先生に相談させていただきますまして検討していただくことを、ご了承ください。</p> <p>大枠としては、ご承認いただいたということで、軽微なところは事務局一任ということをご承認いただきたいと思います。それでは、議事3その他ですが、事務局からお願いします。</p> <p>次回の日程でございますが、アンケートを10月の中旬から11月の下旬に実施してまいります。アンケートの集計がどのくらいでできるか外部に委託をしておりますので、図れない状況です。事務局としては1月の末あたりに皆様にお示しできればと考えております。進捗によって開催日程が変わってくると思いますので、追って連絡させていただきます。</p> <p>それでは、以上を持ちまして、本日の議事を終了し、議長の役を下ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
<p>4 閉 会</p>	
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和2年9月29日 署名委員 <u>田中 恵子</u></p> <p>署名委員 <u>塩原 憲孝</u></p>	